

地域のブランド価値創造とエリアマネジメントの導入可能性の研究

研究の概要

＜地域の価値を維持・向上する取り組みを提案し、特色ある地域づくりを支援します＞

“グローバル化”と“ローカル化”が進展する中、地域においてその価値を維持・向上させるための取り組みが必要となっています。「国際競争力をつけるのにはどうすればよいのか?」「地域の魅力発信をどのようにすればよいのか?」「地域のテーマカラー（色）やテーマソング（歌）は何だろう?」等の課題を国際基準に則って“エリアマネジメント”という地域政策の一つの手段で解決へ導きます。エリアマネジメントとは、一定のエリアを対象として、地域を「つくること」だけではなく「育てること」を目指す取り組みです。行政のみによる活動ではなく、多くの地域住民・事業主・地権者等が互いにに関わり合いながら主体的に進める活動を指します。私と共に、理論や実証分析、他地域の事例等を通して経済的・社会的効果の高い具体的な取り組み内容を検討しましょう。

研究の特徴

＜下記のような課題を解決します＞

- ・まちづくりルール等を策定したい。
- ・BID や TID 等の資金面の仕組みについて研究し、地域への適用可能性を探りたい。
- ・まちなみや景観へ効果のある活動を行いたい。
- ・にぎわいや集客（買い物客、観光客等）へ効果のある活動を行いたい。
- ・不動産へ効果のある活動を行いたい。
- ・消費活動や雇用等の経済へ効果のある活動を行いたい。
- ・防災・防犯・安全へ効果のある活動を行いたい。
- ・地域住民の相互交流等へ効果のある活動を行いたい。
- ・財政負担の軽減効果のある活動を行いたい。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

和歌山県湯浅町を事例にした地方版エリアマネジメントの導入可能性の調査
(和歌山県湯浅町, 株式会社アド電通大阪, 中紀バス株式会社等, 2018-19 年度)

ヒトとカネからみる大阪版 BID の導入可能性

(大阪府市町村振興協会おおさか市町村職員研修研究センター, 2021 年度住み続けたいまちづくり研究会
～エリアマネジメントを基軸として～)

研究者からのメッセージ

上記以外にも行政・経済界・地域との豊富な連携実績があります。地域の歴史・文化を再考しながら、国内外における先進的な取り組みを支援できれば幸いです。

研究分野 : 地域政策, エリアマネジメント, 都市創造

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学経済学部 経済学科・准教授・上野美咲

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp